

ご報告

ボランティアスクール 33名参加!

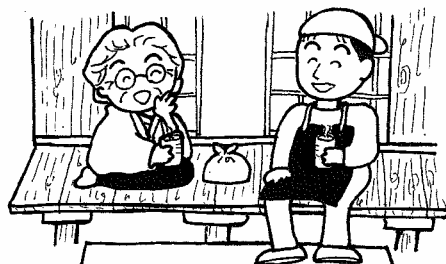
11月7日(水)



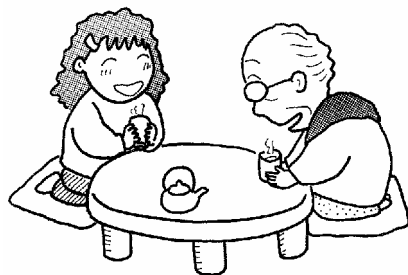
等覚寺住職(南木曾町) 村瀬 泰信先生

今年度のボランティアスクールでは、「地域の中で“老いを生きる”」をテーマに、村瀬泰信さん(南木曾町 等覚寺住職)にご講演いただきました。人間の一生についてのお話の中でご住職は、「四苦八苦」の「四苦」とは、生まれてくる苦しみ、老いていく苦しみ、病みの苦しみ、死んでいく苦しみの事であり・・・と、ご自分の様々な経験を振り返りながらお話してくださいました。

また、「我が身にふりかえ、物を与えなさい。」これはご住職の好きな言葉だそうで、「大事な心」と説かれ、「その方の身になって、必要であれば杖となり支えてあげましょう・・・」と、ご住職らしい温かいお言葉で話されました。



ご住職のお話しは学ぶ事が多く、熱心にペンを執り、メモする姿もみられました。



“相手の身になってみる”
「自分もその方の気持ちになってみる(同事)という心が、ボランティアをされる時に大切なのでは・・・やり過ぎ(おせっかい)は生きがいを奪う事にもなり兼ねない。その辺のさじ加減が難しいですね。」と、ご住職は話されていました。

お忙しい中、33名ものたくさんの方々にご参加いただきありがとうございました。女性ばかりの参加だったのが少々残念でしたね・・・“ボランティア”も“生きがい作り”も年齢は関係ありません。「自分でやりたいという気持ちが大切であり、周囲はそれを奪ってもいけない。」とご住職は話して下さいました。その心得を、みんなで大切にしていきたいと思います。



ご家庭に古切手はありますか?

今年も、皆さまが社協へお持ちいただいている古切手を、福祉活動のために活用されている団体へ送付させていただきたいと思っております。みなさんのご家庭に古切手やベルマークがありましたら、社協までお届けください。

目的・・・集められた切手を分類、整理し、美しい古切手セットによみがえらせ、福祉の店や、バザー、海外旅行の土産品として販売し、売上金は、知力ハンディキャップの問題の正しい理解者を増やすための、社会啓発資金とされています。

回収場所・・・社協の入り口に置いています切手回収箱へ入れてください。どんな切手でもOKです。周りを1cm くらい残すくらいで切ってください。ベルマークもOKです。



送付先・・・NPO 法人「誕生日ありがとう運動本部」(神戸市)

回収期間・・・12月末
(期日を過ぎても継続して回収箱の設置を行っております。)

現在の様子。こんなに集まっているんですよ!

近況報告!

第36回 信州発ボランティア・地域活動フォーラム

平成25年3月2日(土)～3日(日) 会場:ホテル木曾路(南木曾町)で予定されている、第36回信州発ボランティア地域活動フォーラムの準備が着々と進められています。

毎年、県内各地を会場に開催されているフォーラム、今年は木曾が舞台となります。郡内各町村からのボランティアさんと社協職員で結成された実行委員で、着々と準備に当たっています。とてもワクワクした内容にないそうですよ!

★ 現在の状況をちらっとご紹介・・・

夏から3回にわたる実行委員会を経て、11月8日に、いよいよ本筋へと「企画内容部」と「おもてなし部」に分かれ、第1回の部会が開かれました。王滝村からボランティア代表として、野口区の脇坂智恵子さんが実行委員として参加いただいています。



「木曾」をイメージする“森林・山・水”をテーマにした全体会や、心とお腹が温まるような催し、分科会では、様々な視点からボランティアを考える企画等・・・充実した2日間になりそうです。ぜひ、お楽しみに来場をご予定ください。

